



三井住友カード

 日本信号株式会社
NIPPON SIGNAL CO., LTD.


QUADRAC VISA

九州旅客鉄道株式会社
三井住友カード株式会社
日本信号株式会社
QUADRAC 株式会社
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社

JRグループ初！！ JR九州にて Visa のタッチ決済による実証実験 ～2022年7月22日より開始～

九州旅客鉄道株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長執行役員：古宮 洋二、以下「JR九州」）、三井住友カード株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：大西 幸彦）、日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本 英彦）、QUADRAC 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高田 昌幸）、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：スティーブン・カーピン）は、JR九州の一部区間において、三井住友カードの公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用し、Visaのタッチ決済による実証実験を実施します。



1 実証実験の概要

Visaのタッチ決済とは、Visaのタッチ決済対応カードやスマートフォン等を機器にかざすことで、決済をスピーディに完了する仕組みです。

今回の取り組みでは、JR九州の鹿児島本線5駅において、Visaのタッチ決済対応カードやスマートフォン等を読取できる機器を自動改札機へ設置します。

2 実証期間

2022年7月22日（金）～2023年3月31日（金）（予定）

※終了時期は変更になる場合があります。

3 対象駅

鹿児島本線 博多駅（中央改札口、北改札口のみ利用可）、吉塚駅、箱崎駅、千早駅、
香椎駅（1階改札口のみ利用可） 計5駅

※上記対象駅及び対象改札口以外ではVisaのタッチ決済はご利用いただけません。

※Visaのタッチ決済については、対象5駅の相互区間内でのご利用に限ります。

4 ご利用方法

Visaのタッチ決済対応カード（クレジット、デビット、プリペイド）やスマートフォン等を、自動改札機に設置の専用端末に入場時および出場時にかざしていただくことで、列車をご利用いただけます。

<ご利用時のイメージ>



(入場時に専用端末へタッチ)



(列車にご乗車)



(出場時に専用端末へタッチ)

5 Visa のタッチ決済乗降履歴確認方法

交通事業者向け決済及び認証のプラットフォームを提供する QUADRAC の Q-move サイトにアクセスいただき、「マイページ」の会員登録手続き完了後、ご確認いただけます。

<Q-move サイト>

<https://q-move.info/>



<Q-move サイトのご利用イメージ>



6 各社の役割分担

- ・九州旅客鉄道株式会社：鉄道の運行、お客さまへのご案内
- ・三井住友カード株式会社：キャッシュレス決済導入支援、steraプラットフォーム提供
- ・日本信号株式会社：交通IC/タッチ決済一体型自動改札機開発
- ・QUADRAC株式会社：交通事業者向け決済及び認証に関するSaaSプラットフォーム (Q-move) 提供
- ・ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社：Visa のタッチ決済に関するソリューション提供・認知プロモーション

別紙

<Visa のタッチ決済について>



Visa のタッチ決済は、日本を含む世界約 200 の国と地域で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応の Visa カード（クレジット・デビット・プリペイド）または、スマートフォン等をかざすだけで、サインも暗証番号の入力も不要*で、スピーディかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用頂ける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設など、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。国内の Visa のタッチ決済対応カードの発行枚数は、7,100 万枚、ご利用可能な端末数も 100 万台を超えており（2022 年 3 月末現在）、公共交通機関では、既に世界 500 の公共交通機関で導入、国内においても、幅広いシーンで拡大しています。

*一定金額を超えるお支払いは、カードを挿し暗証番号を入力するか、サインが必要となります。

<stera transit について>



決済プラットフォーム「stera」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMO ペイメントゲートウェイ・GMO フィナンシャルゲートおよび Visa と共同で構築した事業者向け決済プラットフォームです。

「stera transit」は、「stera」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」など、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「stera transit」の技術は、MaaS やスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しております。